

令和7年度 学校評価を受けた結果と改善

R7 2月末 主幹教諭

1 実施年月 令和7年11月中旬～12月中旬

2 対象者 生徒・保護者・教職員

3 生徒評価（回答数：473人/502人中）、保護者評価（回答数：258人/469人中）

全体的に例年と大きく変化した項目はありません。その中でも、指導・支援の成果が顕著なものや改善が必要なものについて以下にまとめます。

【良い点】…「思う」「どちらかというと思う」を合わせて90%を超えているもの中心

- 「5 みんなで何かをするのは楽しい」「6 だれかの役に立ててうれしい」「8 学校行事は楽しく、積極的に参加している」「16 係活動や当番には、責任をもって取り組んでいる」の項目について、例年と同様「思う」「どちらかというと思う」（以下「肯定的に捉えている」と表現する）と回答した生徒が90%を超えている。これまでの特別活動を軸として、実行委員を中心とした生徒主体の取り組みや取り組みの前後で目標立てや振り返りをしっかりと行い、自己評価と他者評価を丁寧に行う等、やりがいや自己有用感を高める支援をしてきた成果と捉えている。
- 「14 友達となかよく生活している」の項目について、肯定的に捉えている生徒や保護者が90%を超えている。「11 先生は、私たち一人一人を大切に温かく接してくれている」の項目も肯定的に捉えている生徒が90%以上を超えている。生徒のよりよい関係を促す支援（ペアやグループ活動の積極的な活用、授業や行事で他者の意見を認め合う機会の設定等、座席の配慮、生徒の関り合いの場の設定を行ってきた成果が表れている。また、休み時間の学年フロアでの生徒の見守りや定期的に行う教育相談だけでなく、気になる生徒に行う個別相談、関係者間での情報や支援方法の共有と共通理解など、一人一人にあった丁寧な支援・指導を継続してきた成果と捉えている。
- 「4 ICT 機器を使って、調べたり、まとめたり、問題を解いたり、意見や作品を交流させたりすることができ、学習を深めるために役立っている」の項目では、肯定的に捉えている生徒が調査以来初めて90%を超えた。（昨年より5%上昇）小学校から授業等で活用する機会が増え、生徒はもちろん教員も必要ときに効果的に活用するスキルが高まってきた表れと捉えている。今後、新しくなるタブレットの設定等を早急に行い、有効に活用していきたい。
- 「10 住んでいる地域の行事などに積極的に参加している」という項目で50%以上の生徒が肯定的に捉えている。地域の行事やボランティア等に積極的に参加している生徒が大変多い。それは、地域コーディネーターを通して、地域と連携して、地域の行事などへの生徒の参加を呼びかけてきた成果である。また、行事後にボランティアでの活動の様子から「美善賞」を申請してください
る地域の方が多く、生徒の自己肯定感やさらなる意欲を高めていただいていることも数値が高まった大きな要因であると捉えている。

【改善点】

- 「2 授業は、よく分かる」「3 授業に自ら積極的に取り組んでいる」項目に対して、「わくわく授業づくり」をテーマによりよい授業を目指して、努力している教員の割合は高いものの、否定的にとらえている生徒が20%近くいる。困ったら気軽に相談できる雰囲気づくりに努めたり、TT指導を充実させ、複数の教員で授業支援を行う体制をつくったりしているものの、まだまだ不十分である。特に教育相談では、これまでの学習の積み上げが必要な計算、漢字、英語の単語・文法等に困り感を感じている生徒が多い。分かる喜び、自分から積極的に取り

組んで得られる充実感を味わわせるためにも、小学校との学習支援の連携、家庭の協力を得ながら個に応じた最適な支援を検討し、取り組む必要がある。

- 昨年度まで「15 病気やけがをしないように、気をつけて生活している」「19 学校では、換気や手洗いを、手指消毒をしっかりと行っている」の健康・安全に関わる項目に対して肯定的にとらえている生徒、保護者が90%を超えていた。しかしながら今年度は、気をつけて意識をしている生徒の割合は高いものの、実際に換気や洗い、手指消毒などしっかりと行動している生徒は5%近く減った。今後も時期によって感染症が流行する可能性は高く、重症化したり、後遺症が長引いたりする事例もある。学校では、生徒自ら体調管理ができるように引き続き、養護教諭や健康委員会の生徒を中心に、換気や手洗いの呼びかけをしていくことが必要である。また、保護者にも感染状況等を伝え、予防に協力してもらう必要がある。
- 「17 夢や目標に向かって努力している」の項目について、進路について真剣に考える3年生は、肯定的に捉える生徒が85%近くいるものの、1、2年生は、否定的に捉えている生徒が20%を超えている。自己理解を深め広げるため、本校を卒業した高校生や大学生を講師に招く進路学習会などを継続し、長いスパンでの縦割り交流を活用した1、2年生でのキャリア教育を今後も充実させていく必要がある。
- 「18 毎日の課題（スタディサプリ）には、積極的に取り組んでいる」生徒や保護者の割合が10%近く高まった。家庭での学習習慣を身につけたり、基礎的な学力を高めたりする重要性を感じている生徒や保護者が増えていることが分かる。一方で否定的に捉えている生徒（25%弱）、保護者（30%強）がいることも事実である。今後の入試（公立）の形式（マーク形式）や基礎的な内容から発展的な内容まで、生徒の能力に合わせて個別に学習をできる観点から、生徒の実態にあった配信の仕方や取り組み方の確認の仕方についてより一層工夫する必要がある。また、引き続き、生徒、保護者へも学習方法や機能等の有効活用について周知徹底が必要である。

【保護者の自由記述欄】 ○肯定的 ●否定・改善必要 △検討必要

全体に関わるご意見について、下記にまとめます。

- 今年度は三好中みんなにとってショックな出来事があり、先生方は本当に大変だったと思います。そのなかで、先生方は子どもたちや保護者と真摯に向き合い対応してくださっていると思います。おかげで、うちの子は毎日、元気に楽しく学校に行くことができます。先生方には本当に感謝しています。親でも手を焼く生意気盛りですが、今後ともよろしく願っています。
- 毎日担任の先生が子どもの一言日記にたくさんのコメントを書いてくださっています。目の回るような学校生活の中で、時間を作って書いてくださっていると感謝の気持ちでいっぱいになります。この場をかりてお礼を申し上げます。ありがとうございます。
- とても楽しそうに生活していると思います。困ったことなども友達や先生方に相談しながら解決しているようで安心しています。担任の先生を信頼して自分らしく過ごしています。

<授業やテスト、学習環境に関すること>

- 授業が分かりにくいと言っています。改善をお願いします。先生によっては授業も分かりにくければ、テストにも問題がある可能性があるため改善して欲しい。（多数同意見有）
- 先生のやる気があまり感じられない。
- 怠惰ともいえる授業をする先生も中にはいます。
- 質問しても欲しい答えがもらえないと感じている。生徒の理解度を確認しながら授業を進めてほしいです。
- 授業が分からないと言っている。嫌いになった教科もあると聞く。塾でならった単元も授業

を受けると分からなくなると言っている

- 授業中の生徒への言葉のかけ方、授業の進め方を改善して頂きたいです。生徒が苦痛と感じないような授業をお願いしたいです。宜しくお願い致します。
- 楽しく授業が受けられるのはいい事ですが先生自身が私語が少し多すぎる方もいるようで、それは違うかなっと思うので3年生って事もあるので、もう少し考えて頂きたいです。子供は悪口として話してなく、なんなら楽しそうに話してきます。でも親はそれを良く聞かされると心配になります。宜しくお願いします。
- サブの教員を増やすのではなく担当の先生がもう少し授業内容を予習するべきだと思います
- 学校の環境整備を進めていただき、生徒同士や先生とコミュニケーションが取れる空間作りを推進して欲しい。長期休暇の課題も根本的な見直しがあっても良いと思います。読書感想文、ポスター制作等、一律的なものではなく、学校独自の体験型（ボランティア、スポーツ、芸術を経験、異文化交流）を含めても良いのでは？
- 先生の教育が必要だとかなり感じました。もっと心の勉強をするべき。
- 教科によって教科担任の指導の偏りがあるように思う。先生や指導者の人数が不足しているように感じる。
→いただいたご意見を真摯に受け止め、さらに研鑽を積んで参ります。また、改善できることに関しては、随時改善して参ります。忌憚のないご意見ありがとうございます。

<毎日の課題に関する事>

- 「毎日のタブレット学習…」とありましたが、毎日とはしていません。勉強面に関しては他の学校とのテストの難しさの差や、範囲の違いが気になりますが、基本的な授業の取り組みはよいと思われます。
- 学習面では家庭でタブレット、スタサブを活用しています。ただ、タブレットに頼りすぎて自分で教科書やノートで調べる事が少ないのではと心配です。自分でノートやまとめが出来るようにもなって欲しいと思います。
- タブレットでの宿題では頭に入らないので、書く宿題を増やしてほしい。
- スタサブは答えを選ぶだけの作業になるおそれがあるので、課題としては難しいのではないかと思います。しかし自宅学習をしっかりしたい子にとっては講義を見ることができてありがたいです。
- 宿題とか漠然と出すのではなく、今日はコレと言った感じで出して欲しい。「自分で計画立ててやってね。」なんてやりません。無いのと同じです。
- スタディサプリではなく、手書き？鉛筆を持ってやる宿題も出してほしい。漠然とした宿題ではなく、「今日コレ！やって来て」というのもいいと思う。この日までにこれだけね。だとやらない。
→高校入試（公立）を考えると、マーク式の課題に慣れる必要もあります。また、スタサブを復習や予習にも活用できるように働きかけて参ります。各教科でワークなどの課題（書く課題）もあるので、そちらも定期的に取り組めるように働きかけていきます。中学校を卒業すると自分でより見通しをもって、計画的に学習しなければならなくなります。3年間を通して、できるだけ子どもたちが自立して学習できる力をつけられるように支援して参ります。

<PTAの活動に関する事>

- 親のPTA役員に関わる負担を減らしてほしい。
- 学校へ協力したい保護者と教員の連携が取れないので、保護者の協力しようという気持ちが低下してきているのを感じる。
- PTA活動で学校の協力が少なく、困る場面がたくさんありました。お忙しいところなのは分か

りますが、保護者も同様です。負担をかけすぎず、学校と保護者ともに気持ちよく取り組めるように、改善した方が良いと思いました。

●PTA 広報誌に「こはきどん」が無くなった事が残念です。

△私は今回、PTA 主催の「子どもの安心を守るための性の学びと家庭でできる関わり」の講座を聞きました。大人の私が曖昧な知識だったことに気付かされ、本当に勉強になりました。聞いてそれを次世代にちゃんと伝え教えることは恥ずかしいことではなく、知らない方が危険で恥ずかしいんだと言う社会にしていかなければいけないと思いました。男女のことは男女お互いがわかり合っておくべきです。その機会を中学校で学べるのが最後のチャンスです。ぜひ、今回の講師の方のような専門家に協力を依頼してほしい。(多数同意見有)

△子ども向けにも性教育と人権についての講座が開催されるといいなと思います。私自身親子で性について話したことはないので話した方がいいと思いながらもまだハードルが高いです。家庭で話すきっかけとしても子ども向け講座を希望します。専門の先生のわかりやすい話に子どもも耳を傾けると思います。親だと知識不足な点もあり、正しい知識が子どもたちに伝わるといいなと思います。

→今年度からPTA役員の取り組みも実行委員制になり、活動内容も精査されています。「こはきどん」については、各号ごとに希望していただいた役員の方に作成してもらい、タイムリーに絆ネットからデータ配信しておりますので、そちらをご覧ください。また、行事等に関しては、子どもたち・保護者のみなさまにとってよりよいものを今後も検討し、取り組んで参ります。ぜひ、みなさまのご意見をお聞かせください。

<個々の生徒支援に関すること>

●長期学校に行っていない間の、イベントの案内があるけど、内容や細かい説明・期間・期限・やるか、やらないか、あまりにも学校に行かな過ぎて連絡がないです。参加していないから学校に行きたくないとか子どもが言い出す始末。イベントや案内は、細かい説明して欲しいです。学校に行っていないあまりに、放置し過ぎて2週間とか先生から連絡が無かったりする。もう少し気に掛けるようにしてほしい。毎日は、無くていいですが放置し過ぎ。

●嫌な思いをしている子供にもっと寄り添ってほしいです。嫌な思いをしているほうに我慢させるのは違うと思う

→お子様にはつらい思いをさせ、保護者のみなさまにご心配をおかけして申し訳ございません。状況に応じて、一人一人の心に寄り添って支援して参ります。

<その他>

●最近の新聞記事で、不登校の生徒は15人に1人くらいに増えているとのこと。三好中の不登校の人数は分かりませんが、知り合いにも不登校で悩んでいる方がいます。新聞記事が正しいとすると、今や支援級の生徒よりも多いことになるので、不登校に対して正しい知識を持った専任の先生を配置する必要があると思います。担任の先生は毎年変わってしまうので、継続したサポートが難しく、担任の先生の負担、取り組み方のばらつきもあります。早急に不登校の子を支援する専任の先生を配置、みよし市として対策が必要だと思います。

●林間学習などリアルタイムの情報更新があればありがたいです。

●インフルエンザ等、学級閉鎖があったら全学年に連絡が欲しいです。

●月末に予定をもらうことが多いが、もっと早く知らせてほしい。29日や30日に知らされても通院などの予定が立てにくいので改善して欲しい。(多数意見有)

→ご迷惑をおかけして申し訳ございません。前の月の20日までには、お知らせできるようにいたします。なお、大きな行事については、年間計画をご覧ください。また、例年行っていた宿泊行事の様子を写真などでその日にお知らせしていましたが、個人情報に関わるセキ

ユリテ、個人の携帯の利用制限によりデータの送付が困難になりました。当日の様子については絆メール等で文章によるお知らせをし、行事後に各通信やホームページ（今後改善します）でお知らせする予定です。また、その他必要な情報はできるだけ保護者のみなさまにお知らせしていきます。

- 学校のサイトで月間カレンダーや生活の予定を確認できると伺いましたが、ログインに必要なパスワードをこれまで受け取った記憶がなく、現在アクセスできない状況です。パスワードはどこで取得できますでしょうか？ 教えていただけると助かります。 よろしく願いいたします。

→連絡が徹底しておらず申し訳ございません。再度絆メールでお知らせしましたが「331144」です。

- 学校行事などの案内文章、プリントの誤字脱字、誤記が多々見受けられます。小さな誤りが後に大きな事件へ繋がることにもなりうる事があります。何百人という保護者への対応に難しさを感じると思いますが、まずは案内の中の誤記がないかを確認願います。

- テスト中にテスト内容の訂正がされることが珍しくないと聞きました。それは先生方の落ち度であって、その訂正をテスト中に生徒の解答時間を削ってするものではないと思います。解き終えた問題を再度解き直したり、その問題でつまづき、他の問題の解答時間を削ってしまってる場合もあると思います。間違いがあった場合は一律で正解か不正解にすべきではないですか？ 誰でも失敗や間違いはありますが、訂正されることはたまにはないと伺っているので、もっと緊張感をもって作成すべきだと思います。

→ご意見の通りです。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。間違いがないように事前の確認点検をしっかりと行います。

- 特別支援学級の製品販売を参観日にもしてもらえると嬉しいです。日中仕事で今回は買いに行けなかったもので、次回は行きたいです。

→できるだけ多くの方に来ていただけるように期間を延ばしたり、参観日に合わせられるように検討して参ります。

- 三者懇談中の、待機教室の利用する生徒が騒がしく本当に必要な生徒が待機する場所ではなく、友人と話すために残る場所になっているのを学校が把握しているのか気になりました。

→確認し、今後指導していきます。

- 親には分からない質問が多々あるので「分からない」という回答ができるとうれしい。その回答があると、どこまで親に伝わっているのかもわかるのでは？（アンケートに関して）

→お子様に学校での様子を聞く機会とらえていただき、お子様に様子を聞いたうえでアンケートに答えていただけるとありがたいです。

△教科書が分厚くなっているのに加え毎日のタブレット持ち帰り、学校に教科書を置いて帰る事も許されず、あまりの鞆の重さに子供達の体にいつか支障がでないかと毎日心配です。自転車通学、近くの子はまだいいですが境目の徒歩圏内の子には相当厳しいものがあると思います。実際の状況、重さを体験してもらい何かいい方法を探してほしいです。

△今回の不祥事があったことで、より一層包括的性教育の重要性が分かりました。子どもの頃から性や人権について知っていれば、盗撮事件も起きなかったかもしれません。子どもが安心安全に過ごせるように、また先生たちも正しい知識を得ることで自信を持って子どもたちと向き合うためにも、包括的性教育が必要だと思います。

△部活がほぼなく、中学生が身体を動かすチャンスが少なくなっています。中部小運動場を使わせないのであれば、三好中運動場の開放時間作ってほしいです。公園でボール遊びができない時代に友達と共に遊べる唯一の場所の提供、切なる願いです。ご検討お願いします。

△1、2年の廊下がむき出しなのがずっと気になっています。雨や強風で危ないはずですが改修

はないのでしょうか。

△公立の学校でできることには限りがあると思いますが、子どもが全員活躍できる、ワクワクするような学校だったら嬉しいです。学校内環境を良くする。自由度を持たせた教室や実習室など。開放感のある図書室やイベント室、教室。色々な机や椅子があってもいいし、色調もカラフルで良い。教室の席も毎日好きな席に座ってもいい。生徒に自主性とやる気を持たせる環境（しくみ）があると良い。

→様々なご意見・ご要望ありがとうございます。学校で検討できることは、今後検討し、改善できるよう努力して参ります。運動場の活用について、午前授業等で早く帰る日などに、中学生自ら申請をし、ルールを守るという条件で利用できるように、試験運用をしています。その他、学校だけでは、検討できないことは、市をはじめ関係機関にはたらきかけて参ります。

4 教職員評価（回答数：36/38人中）

【学校経営に関するもの（主に授業づくりや安全指導）】

「分かる授業・楽しい授業づくりに努めている」

「授業力・指導力向上のために、研鑽を積んでいる」

『学び合い、学びを深める』授業の創造と実践に努め、自主的な学習態度を養い、学習意欲を高める指導を行っている」

「魅力ある教材教具の開発に努めるとともに、学びを深める話し合いづくりや授業展開を工夫している」

など授業づくりや安全に関する項目については、肯定的に捉えている（「そう思う」「どちらか」というと「そう思う」を合わせた）教員が90%以上いることはよいが、本来100%でなければならない項目でもある。共通理解を図りながら、同一歩調で支援していく必要がある。

【心のふれあう学年・学級経営に関するもの】

どの項目も肯定的に捉えている教員が90%を超えており、生徒一人一人の理解に努め、生徒に寄り添いながら、生徒の自己有用感を高める努力を今後も継続していきたい。

【地域とともにある学校づくり】

「地域コーディネーターを有効的に活用している」の項目で否定的にとらえている（「どちらか」というと「そう思わない」「そう思わない」を合わせた）教員が35%を超えている。様々なことで協力していただいているが、学校全体で関わっていると感じている教員が少ないことが分かる。今後は、担当だけでなく、日常の授業や従来の学校行事に対して、コーディネーターを活用し、学校全体で関わることができるように共通理解を図りたい。

【多忙化解消にかかわるもの】

どの項目も否定的に捉えている教員の割合が昨年度からほぼ変わらず、30%～50%近くいる。ゆとりある中で、生徒に寄り添い支援する時間を増やすために、学校でできる業務改善は進めているが限界がある。行事の内容や会議の在り方を再度見直し、改善したり、市単位、地域単位、国単位で行う様々な事業（学力テスト、研修会や研究会、各種調査等）の軽減に向けて働きかけたりする必要がある。